

2025 年度 第 16 期

事業報告書

自 2025 年 4 月 1 日

至 2026 年 3 月 31 日

公益財団法人 黒住医学研究振興財団

黒住医学研究振興財団は1993年に設立され、2010年7月1日より公益財団法人としての認定を受けている。公益財団法人として第16期目となる本年度は、定款に従い評議員会、理事会等を開催し、研究助成事業、顕彰事業、学術講演会（3ページ目から8ページ目までのⅠ～Ⅲに記載）の各事業を遂行した。

第1 評議員会、理事会の開催

2025年度は、評議員会を、2025年5月16日（定時評議員会）、同年7月25日（臨時評議員会、書面表決）、2026年1月27日（臨時評議員会、書面表決）、同年2月28日（臨時評議員会、書面表決）の計4回開催した。また、理事会を2025年4月25日（書面表決）、同年5月28日（書面表決）、同年6月17日（書面表決）、同年7月4日、同年9月5日、2026年1月9日、同年2月13日、同年3月13日の計8回、開催した。また、各選考委員会は、2025年8月27日、同年9月5日、2026年2月13日、同年3月13日の計4回開催した。

各評議員会、理事会における議題は次のとおりであり、各議案について出席した評議員または理事全員に全て承認された。

【評議員会】

第40回定時評議員会（2025年5月16日、東京會舘（東京都千代田区丸の内3-2-1、以下同じ）7階にて開催）

出席者 評議員11名中8名 理事2名 監事2名

1. 2024年度の事業報告（案）承認の件
2. 2024年度の決算報告（案）承認の件
3. 2025年度・2026年度 理事の審議・承認
4. 2025年度から2028年度 監事の審議・承認
5. 補充評議員の審議・承認

第41回臨時評議員会（2025年7月31日開催）書面表決 評議員12名中12名

1. 事務所移転による住所変更に伴う定款変更の審議・承認

第42回臨時評議員会（2026年1月27日開催）書面表決 評議員12名中12名

1. 理事補充の承認の件

第43回臨時評議員会（2026年2月28日開催）書面表決 評議員12名中12名

1. 2026年度事業計画（案）承認の件
2. 2026年度予算（案）承認の件

※2025年4月評議員1名辞任、評議員総数11名。2025年5月評議員1名就任、評議員総数12名。

【理事会】

第106回理事会（2025年4月25日開催）書面表決 理事12名中12名 監事2名中2名

1. 2024年度事業報告(案)承認の件
2. 2024年度決算報告(案)承認の件
3. 小沼利光氏の新理事候補者についての承認の件
4. 吉村和久氏の新任理事候補者についての承認の件

第107回理事会（2025年5月28日開催）書面表決 理事11名中11名 監事2名中2名

1. 2025年度・2026年度代表理事選任の件
2. 2025年度・2026年度執行理事（常務理事）選任の件

第108回理事会（2025年6月17日開催）書面表決 理事11名中11名 監事2名中2名

1. 本財団が所有する栄研化学株式会社の株式について、その株式に係わる議決権を行使することへの承認の件

第109回理事会（2025年7月4日、東京會館7階にて開催）

出席者 理事11名中9名 監事2名中2名

1. 第61回小島三郎記念文化賞推薦票の確認、予備選考。
2. 第33回研究助成金の事前審査結果並びに分野別審査委員および選考委員の確認
3. 財団事務所移転による住所変更に伴う定款変更の審議・承認
4. 臨時評議員会開催の件（書面表決）
5. 委員会規定に従った委員長選任についての各種選考委員会内規変更の審議・承認
6. 新規債券購入に関して

第110回理事会（2025年9月5日、東京會館7階にて開催）

出席者 理事10名中10名 監事2名中2名

1. 第61回小島三郎記念文化賞受賞者の決定
2. 第33回研究助成金の贈呈対象者と助成金額の決定
3. 委員会規定の改正およびそれに伴う各種選考委員会審査規定改正の審議・承認
4. 福見賞選考委員候補者の決定および選考委員長の決定
5. 理事候補者および文化賞選考委員候補者の決定
6. 2026年度の贈呈式および日程について

第111回理事会（2026年1月9日、東京會館7階にて開催）

出席者 理事10名中10名 監事2名中2名

1. 2026年度における会議及び事業計画の策定。
2. 委員会規定、各種選考委員会審査内規等および助成金申請書改正の審議・承認
3. 2026年6月の贈呈式における特別講演の演者及び演題の選定
4. 補充理事候補者および補充選考委員の承認
5. 臨時評議員会（書面表決）開催の件
6. 2026年～2029年度の評議員改選について

第112回理事会（2026年2月13日、栄研化学株式会社内レクチャールーム（東京都千代田区
神田駿河台4-6御茶ノ水ソラシティ20階 以下同じ）にて開催）

出席者 理事12名中9名 監事2名中2名

1. 第45回福見秀雄賞受賞者の決定
2. 第61回小島三郎記念技術賞の予備選考
3. 2026年度事業計画（案）、2026年度予算（案）並びに2025年度収支予測について
4. 臨時評議員会（書面表決）開催の件
5. 2026年～2029年度評議員候補者の審議・承認

第113回理事会（2026年3月13日、東京會館7階にて開催）

出席者 理事12名中11名 監事2名中2名

1. 第61回小島三郎記念技術賞受賞者の決定
2. 定時評議員会開催の件
3. 臨時評議員会（書面表決）開催の件

※2025年5月理事4名退任。2025年5月理事3名就任、理事総数11名。2025年8月理事1名辞任、総数10名。2026年2月理事2名就任、理事総数12名。

【各選考委員会の開催】

第33回研究助成金選考委員会

（2025年8月27日、東京會館7階にて開催）出席選考委員10名中10名

1. 第33回研究助成金贈呈候補者の選考

第61回小島三郎記念文化賞選考委員会

（2025年9月5日、東京會館7階にて開催）出席選考委員17名中13名

1. 第61回小島三郎記念文化賞受賞候補者の選考

第45回福見秀雄賞選考委員会

(2026年2月13日、栄研化学株式会社レクチャールームにて開催)

出席選考委員14名中11名

1. 第45回福見秀雄賞受賞候補者の選考

第61回小島三郎記念技術賞選考委員会

(2026年3月13日、東京會館7階にて開催) 出席選考委員27名中14名

1. 第61回小島三郎記念技術賞受賞候補者の選考

第2 各事業の詳細

各事業の詳細は次のとおりである。

I. 研究助成事業

本財団定款第4条第1項第1号に規定される研究助成事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する調査ならびに研究の領域でより優れた学術研究・業績テーマに対して助成するものである。

研究助成の対象は、医学関連の大学、教育機関、研究所及び医療機関等において、当該事業の目的に従事している者から応募申請を募り、申請内容を各専門分野の審査委員が書面審査にて採点した後、選考委員会で慎重かつ厳正に審議して研究助成の贈呈候補者と助成金額案を決定し理事会にて報告する。理事会は選考委員会の報告を受け、研究助成金の贈呈対象者と金額とを決定するものである。

当該事業は、1993年から開始しており、本年度の第33回研究助成金は、選考委員会を2025年8月27日に開催し、申請件数215件のうちから18件の贈呈候補者と助成金額案を決定した。2025年9月5日に行われた理事会にて、理事会は選考委員会からの報告を受け、贈呈対象者と助成金額とを決定した。なお、研究助成金の贈呈式は、第61回小島三郎記念文化賞の贈呈と併せて2025年10月31日に東京會館7階にて開催した。

第33回研究助成金受贈者の氏名、所属機関、研究課題、助成金額は次のとおりである。なお、所属機関および肩書は理事会決定時のものである。

【第33回 研究助成金の受贈者】

① 朝比奈 彩

(所属機関) 静岡社会健康医学大学院大学 社会健康医学研究科 社会健康医学専攻

(研究課題) 「日本人地域住民における、末梢血中 Y 染色体モザイク喪失の疫学調査ならびに総死亡や循環器疾患発症との関連解明」

(助成金額) 100 万円

② 出居 真由美

(所属機関) 順天堂大学医学部 臨床検査医学講座 准教授 医学博士

(研究課題) 「JSCC 法で AST・ALT が正常～低値例における IFCC 法測定の有用性」

(助成金額) 100 万円

③ 柿田 徹也

(所属機関) 沖縄県衛生環境研究所 感染症研究センター 主任研究員 獣医師

(研究課題) 「病原性レプトスピラ血清群特異的リアルタイム PCR の開発」

(助成金額) 100 万円

④ 片桐 孝和

(所属機関) 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 病態検査学講座 准教授 保健学博士

(研究課題) 「自己免疫性骨髄不全におけるプレシジョン医療開発に向けた先制的臨床検査の実装～新規フローサイトメトリー解析法の開発～」

(助成金額) 100 万円

- ⑤ ^{かとう ひろふみ}**加藤 博史**
 (所属機関) 国立感染症研究所 応用疫学研究センター 主任研究員 医学博士
 (研究課題) 「次なるパンデミックに向けた、エムボックスの臨床疫学的解析と核酸増幅臨床現場即時検査の開発」
 (助成金額) 100 万円
- ⑥ ^{さかい やすひろ}**酒井 康弘**
 (所属機関) 浜松医科大学医学部医学科 腫瘍病理学講座 准教授 医学博士
 (研究課題) 「DSS1・PCID2を用いた新規 PARP 阻害剤コンパニオン診断法の基礎的検討」
 (助成金額) 100 万円
- ⑦ ^{さが ゆみこ}**佐賀 由美子**
 (所属機関) 富山県衛生研究所 ウイルス部 主任研究員
 (研究課題) 「新規開発高感度・同時検出 PCR 法を用いたダニ媒介感染症の後方視的研究」
 (助成金額) 100 万円
- ⑧ ^{しらかみ ようへい}**白上 洋平**
 (所属機関) 岐阜大学医学部附属病院 検査部 副部長／第一内科 講師 医学博士
 (研究課題) 「肝がん新規バイオマーカーMYCN の機能解析と臨床検査法確立」
 (助成金額) 100 万円
- ⑨ ^{たけい さとみ}**武井 理美**
 (所属機関) 順天堂大学医学部 臨床検査医学講座 助教 医学博士
 (研究課題) 「質量分析法 MALDI-TOF MS を用いた希少および培養困難菌の同定方法の確立」
 (助成金額) 100 万円
- ⑩ ^{たなか}**田中 ゆきえ**
 (所属機関) 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 微生物・感染免疫解析学分野 准教授 医学博士
 (研究課題) 「CAR-T 療法の有用性および副作用リスク予測のための腸管免疫・細菌叢の解明と免疫プロファイリング基盤の構築」
 (助成金額) 100 万円
- ⑪ ^{とくなが なおき}**徳永 尚樹**
 (所属機関) 川島病院 診療技術部 検体検査技術科 科長 臨床検査技師
 (研究課題) 「血液透析患者のバスキュラーアクセスにおける血流速度と後天性フォンヴィレブランド症候群の関連性の解明」
 (助成金額) 100 万円
- ⑫ ^{にしおか みつあき}**西岡 光昭**
 (所属機関) 山口大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長 医学博士
 (研究課題) 「大腸癌関連 long non-coding RNA プロモーター領域のメチル化を標的とした便スクリーニング検査の実用化に向けた研究」
 (助成金額) 100 万円
- ⑬ ^{はぎわら しゅう}**萩原 秀**
 (所属機関) 東京大学医学部附属病院 感染制御部 微生物検査室 臨床検査技師
 (研究課題) 「肺炎球菌以外の Mitis group streptococci の簡易的同定系の確立とその保

有病原因子の網羅的解析」
(助成金額) 100 万円

- ⑭ はたやま ゆう き
畑山 祐輝
(所属機関) 鳥取大学医学部附属病院 検査部 主任臨床検査技師 医学博士
(研究課題) 「急性骨髄性白血球の新規バイオマーカーとしての Vault RNA の可能性」
(助成金額) 100 万円

- ⑮ はやし ひろ し
林 泰志
(所属機関) 東京都立小児総合医療センター 血液・腫瘍科 医員
(研究課題) 「小児造血幹細胞移植後患者における水痘・帯状疱疹ウイルス感染症の疫学」
(助成金額) 100 万円

- ⑯ まえだ けいすけ
前田 圭介
(所属機関) 藤田医科大学 医療科学部 臨床教育連携ユニット 生体機能解析学分野 講師 医療科学博士
(研究課題) 「発達性てんかん性脳症の精神運動発達遅滞を捉える脳波バイオマーカーの開発」
(助成金額) 100 万円

- ⑰ もりた み か
森田 未香
(所属機関) 富山大学附属病院 検査・輸血細胞治療部 副臨床検査技師長
(研究課題) 「院内細菌タイピングへのフーリエ交換赤外分光法導入に向けた実現可能性の検証」
(助成金額) 100 万円

- ⑱ わたなべ なお き
渡辺 直樹
(所属機関) 亀田総合病院 臨床検査部副主任 保健学博士
(研究課題) 「高病性肺炎桿菌による菌血症の重症化リスクと分子疫学の解明」
(助成金額) 100 万円

計 18 名 研究助成金総額 1,800 万円

Ⅱ．顕彰事業

本財団の定款第4条第1項第2号及び第3号に規定されている顕彰事業は、臨床検査、衛生検査及びこれらに係る基礎医学に関する優れた研究成果に対する顕彰並びに臨床検査技師及び衛生検査技師の人材育成に優れた成果を収めた者に対する顕彰である。これにより学術及び科学技術の振興並びに医療・公衆衛生の向上を図るとともに、国民の健康と福祉の向上に寄与する事業である。顕彰事業としては、「小島三郎記念文化賞」、「小島三郎記念技術賞」、「福見秀雄賞」があり、各賞とも毎年1回贈呈している。

実施済みの顕彰事業

1. 【第61回 小島三郎記念文化賞】の贈呈

小島三郎記念文化賞は、病原微生物学、感染症学、公衆衛生学その他これらに関連した領域において、学問的に顕著な業績で、しかも我が国の文化に貢献したと思われる研究成果に対して贈呈するものである。当該事業は、1965年から開始している。

同賞の対象者については、大学の衛生学、公衆衛生学、微生物学、寄生虫学、感染症学、病理学、免疫血清学の教授、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、小島三郎記念文化賞受賞者等から推薦を得た候補者を申請書類の推薦理由、研究歴、発表論文等を基に選考委員会で慎重かつ厳正に審査した上で優秀な業績のあった者を受賞候補者として理事会に報

告し、理事会にて受賞者を決定するものである。

本年度の第 61 回小島三郎記念文化賞選考委員会は 2025 年 9 月 5 日に開催され、推薦候補者 8 名のうちから 1 名を受賞候補者として選考、その結果を理事会へ報告した。理事会は選考委員会からの報告を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は、第 33 回研究助成金の贈呈と併せて 2025 年 10 月 31 日に東京會館 7 階にて開催した。

受賞者の氏名、所属及び業績の題目は次のとおりである。

うえまつ さとし

植松 智 大阪公立大学大学院医学研究科医学部ゲノム免疫学 教授／東京大学医科学研究所・特任教授 医学博士

(業績の題目) 「腸内細菌制御による革新的な疾患治療法の研究開発」

※所属機関および肩書は理事会決定時

2. 【第 60 回 小島三郎記念技術賞】の贈呈

小島三郎記念技術賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域において優れた検査方法、術式の考案改良を行い、また、検査技術の普及発展に功績のあった実務者（技師）に贈呈するものである。当該事業は、1965 年から開始している。

同賞の対象者については、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者等から推薦を得た候補者を申請書類の推薦理由、研究歴、ならびに論文等を各専門分野の審査委員が事前審査で採点した後、選考委員会が慎重かつ厳正に審査した上で、優秀な業績のあった者を受賞候補者として理事会に報告し、理事会にて受賞者を決定するものである。

本年度の第 60 回小島三郎記念技術賞選考委員会は 2025 年 3 月 14 日に開催され、推薦候補者 16 名のうちから 5 名を受賞候補者として選考し、その結果を理事会へ報告した。理事会は選考委員会からの報告を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は 2025 年 6 月 5 日、東京會館 7 階にて第 44 回福見秀雄賞の贈呈と併せて開催した。

第 60 回小島三郎記念技術賞受賞者の氏名、所属及び業績の題目は次のとおりである。

なお所属機関およびその肩書は理事会決定時のものである。

① いしづか つとむ **石塚 敏**

(所属機関) 東京女子医科大学 移植関連検査室 臨床検査副技師長

(業績の題目) 「ABO 血液型不適合臓器移植における新しい抗血液型抗体検査法の開発と臨床的意義」

② さいとう りょういち **齋藤 良一**

(所属機関) 東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 教授 保健学博士

(業績の題目) 「髄膜炎菌感染症の検査体制強化に資する開発研究」

③ とよかわ まさひろ **豊川 真弘**

(所属機関) 福島県立医科大学 保健科学部 臨床検査学科 教授 保健学博士

(業績の題目) 「ノカルジア感染症の早期適正治療を可能とする迅速同定法の確立と薬剤耐性機序の解明」

④ ひがしもと ゆうき **東本 祐紀**

(所属機関) 藤田医科大学 医療科学部 感染制御学分野 医療講師 医学博士

(業績の題目) 「水痘带状疱疹ウイルス迅速診断法およびワクチン株・野生株の型判別法開発と臨床応用」

⑤ やぎ ともこ **八木 朝子**

(所属機関) 久留米大学 医学部 医療検査学科 准教授

(業績の題目) 「終夜睡眠ポリグラフィの標準化と技術促進ならびに AI 解析アルゴリズム開発」

3. 【第 44 回 福見秀雄賞】の贈呈

福見秀雄賞は、臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発、向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献のあった者に贈呈するものである。同賞の対象者については、各都道府県衛生部長、衛生研究所長、各都道府県臨床衛生検査技師会長、検疫所長、大学病院中検部長、小島三郎記念技術賞受賞者、福見秀雄賞受賞者等から推薦を得た候補者を申請書類の推薦理由、職歴、ならびに論文等の概略を確認し、選考委員会で慎重かつ厳正に審査した上で、優秀な業績のあった者を受賞候補者として理事会に報告し、理事会にて受賞者を決定するものである。

当該事業は、1980 年から開始しており、本年度の第 44 回福見秀雄賞選考委員会は 2025 年 2 月 14 日に開催し、推薦候補者 7 名のうちから 5 名を受賞候補者として選考し、その結果を理事会に報告した。理事会は選考委員会からの報告を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は 2025 年 6 月 5 日、東京會館 7 階にて第 60 回小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて開催した。受賞者の氏名、所属及び業績は次のとおりである。

なお、所属機関および肩書は理事会決定時のものである。

(業 績)「臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発・向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献した」

① いけざわ つよし 池澤 剛

(所属機関) 龍ヶ崎済生会病院 医療技術部 参事

② おかざき みつひろ 岡崎 充弘

(所属機関) 東京工科大学 医療保健学部 検査学科 教授 保健学博士

③ かたおか ひろみ 片岡 浩巳

(所属機関) 川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床検査学科 教授 医学博士

④ みずの せいし 水野 誠士

(所属機関) 前 JA 広島総合病院 病理研究検査科長 臨床研究検査科長

⑤ ももた ひろし 百田 浩志

(所属機関) 社会福祉法人恩賜財団済生会唐津病院 検査科 臨床検査技師長

実施予定の顕彰事業

1. 【第 61 回 小島三郎記念技術賞】の選考および決定

2025 年度における第 61 回小島三郎記念技術賞の推薦の受付は 2025 年 11 月 1 日より同年 12 月 31 日まで行い、その後、同賞の選考委員会を 2026 年 3 月 13 日に開催し、推薦候補者 14 名のうちから 5 名を候補者として選考し理事会に報告した。理事会は選考委員会からの報告を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は 2026 年 6 月 5 日、第 45 回福見秀雄賞の贈呈と併せて東京會館 7 階にて開催の予定である。

第 61 回小島三郎記念技術賞受賞者の氏名、所属及び業績の題目は次のとおりである。

なお、所属機関および肩書は理事会決定時のものである。

① おおしろ たけや 大城 健哉

(所属機関) 那覇市立病院 医療技術部検査科 副技師長

(業績の題目)「血液培養検査の陽性検出向上および迅速同定・抗酸菌薬適正使用に資

する研究とその普及」

② 佐藤 隆司

(所属機関) 北里大学 医療衛生学部 血液学研究室 講師

(業績の題目) 「自己免疫疾患における自己抗体関連検査法の確立とその臨床応用」

③ 外園 栄作

(所属機関) 九州大学大学院医学研究院 保健科学部門検査技術科学分野 准教授

(業績の題目) 「各種生化学検査法の開発と開発試薬の市販化による生化学検査への貢献」

④ 松本 竹久

(所属機関) 信州大学医学部保健学科検査技術科学専攻 教授

(業績の題目) 「Small-colony variants に関する分子生物学的解析と検査法の確立」

⑤ 渡邊 恒夫

(所属機関) 岐阜医療科学大学 保健科学部 臨床検査学科 学科長

(業績の題目) 「超音波検査による筋骨格系組織評価法の確立と臨床応用」

2.【第45回 福見秀雄賞】の選考および決定

2026年度における第45回福見秀雄賞の推薦の受付は、2025年11月1日より同年12月31日まで行い、その後、同賞の選考委員会を2026年2月13日に開催し、推薦候補者8名の中から5名を候補者として選考し理事会に報告した。理事会は選考委員会からの報告を受け、同日行われた理事会で受賞者を決定した。

なお、同賞の贈呈式は2026年6月5日、小島三郎記念技術賞の贈呈と併せて東京會館7階にて開催の予定である。

第45回福見秀雄賞受賞者の業績、氏名および所属機関は次のとおりである。

なお、所属機関および肩書は理事会決定時のものである。

(業績) 「臨床検査ならびに衛生検査領域に半生を捧げ、技術の開発・向上に努力し、その領域の発展への指導的役割および人材育成に貢献した」

① 荒木 秀夫

(所属機関) (一社)日本臨床衛生検査技師会 事務局事業部 精度管理専門委員
元日本大学病院技術長

② 大久保 文彦

(所属機関) 九州大学病院病理診断科・病理部
元九州大学医学部講師

③ 川上 小夜子

(所属機関) 国立感染症研究所薬剤耐性研究センター 研究員

④ 滝野 寿

(所属機関) つくば臨床検査教育・研究センター 理事長
元名古屋市立大学大学院 医学研究臨床病理病態学 助教

⑤ 森田 益子

(所属機関) 前広島市立病院機構北部医療センター安佐市民病院 技師長

Ⅲ. 学術講演会

学術講演会は、2025 年 6 月 6 日東京會館にて、第 60 回小島三郎記念技術賞ならびに第 44 回福見秀雄賞贈呈式の特別講演として開催し、「新型コロナ対応を踏まえた今後の感染症対策について」と題し、厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部 部長 鷺見 学先生に講演いただいた。なお、所属機関および肩書は講演会当時のものである。

第 3 公益財団法人登記後の対応

1. 2024 年度事業報告書等に係る提出書（1. 財産目録、2. 役員等名簿、3. 理事、監事及び評議員に対する報酬などの支給の基準を記載した書類、4. 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律 第 129 条第 1 項（同法第 199 条において準用する場合を含む）に規定する計算書類等、5. 公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 28 条第 1 項第 2 号に掲げる書類、6. 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第 28 条第 2 号及び第 3 号に掲げる書類、7. 滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書）および評議員と理事の変更申請を内閣府へ 2025 年 6 月 27 日に提出した。
2. 事務所移転に際し定款変更届（住所変更、東京都台東区台東 4-19-9 から東京都千代田区神田駿河台 4-6 へ変更）を内閣府へ 2025 年 11 月 19 日に提出した。
3. 評議員に関し、納富継宣評議員が 2025 年 5 月 7 日に辞任し、瀬川雄司氏が 2025 年 5 月 16 日に就任し登記した。理事に関し、光山正雄理事、猪狩淳理事、下杉彰男理事、和田守史理事の 4 名は 2025 年 5 月 16 日に退任した。小沼利光氏、吉村和久氏、納富継宣氏の 3 名は 2025 年 5 月 16 日に就任し登記した。金田良雅理事は 2025 年 8 月辞任したため 2025 年 11 月に登記した。神谷茂氏、村上正巳氏の理事就任につき 2026 年 1 月に登記した。何れも変更届を内閣府に提出した。
4. 2026 年度事業計画書等に係る提出書（1. 事業計画書、2. 収支予算書、3. 資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類、4. 前記 1 から 3 までの書類について理事会、評議員会の承認を受けたことを証する書類）を内閣府へ 2026 年 3 月 23 日に提出した。

以上